

事務事業実績測定調査

事務事業名称													橋梁長寿命化修繕計画事業												
測定年度				2021 (R3) 年度				部		土木部				課		道路公園管理課									
市長公約との関係		所信表明		市政運営方針		R2		R3		R4															
総合計画体系		基本目標		1.安全で、利便性の高いまち																					
		施策目標		1.災害に対する備えができています																					
		実行計画名		1-2.防災対策の推進																					
1. 事務事業の概要																									
種類		内部管理				特性		内部事務				区分		一般内部管理事務											
事業期間		2011 (H23) 年度				年度		~		年度まで															
根拠法令等		道路法																							
関係補助金名称		サンセット																							
関係附属機関名称																									
事業対象		メインターゲット		橋梁の利用者																					
		サブターゲット																							
		ターゲットが抱える課題		突発的な補修が発生した場合は多大な財政負担が発生することになり、迅速な補修に影響を与える。																					
		ターゲットが抱える課題																							
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		計画的な点検、修繕を行うことにより、道路の安全を確保し、道路を安全・安心に通行できることで、人の交流や、物流が円滑に進んでいる。																							
事業概要		対象橋梁を選定した中で、各橋梁の修繕内容・時期又は架替え時期を検討して、橋梁長寿命化修繕計画を策定し、進捗管理を行う。																							
2. ロジックモデル及び指標設定																									
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)															
						「橋梁長寿命化修繕計画」に係る取り組みが確実に推進される。				「橋梁長寿命化修繕計画」に係る事務を実施する。															
指標設定		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)															
		指標説明		単位		橋		単位		橋		単位		橋											
		指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標													
		指標数値		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5							
		目標 (見込み)										30		142		85		2							
		実績										30		142											
達成度						100%				100%															
分析						計画通り点検を完了した。				計画通り点検を完了した。															

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.40
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	4,810	5,981	3,143		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	4,810	5,981	3,143		
	物件費計	6,069	6,564	15,155	18,596	81%
	歳出計	10,879	12,545	18,298		
歳入	国庫支出金	2,750	3,135	6,000	6,000	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	2,750	3,135	6,000	6,000	
	一般財源	8,129	3,429	9,155	12,596	

5. 総括的分析

総括的分析 橋梁の点検について計画通りに実施することができた。

6. 今後の方向性

区分	廃止
今後の取組方針	計画に基づき、橋梁の点検を実施する。(令和4年度より枚方市道路長寿命化計画事業に統合)

事務事業実績測定調査

事務事業名称													開発行為等に伴う寄附・帰属等道路処理事務												
測定年度				2021(R3)年度				部		土木部				課		道路公園管理課									
市長公約との関係		所信表明		市政運営方針		R2		R3		R4															
総合計画体系		基本目標		1.安全で、利便性の高いまち																					
		施策目標		4.安全で快適な交通環境が整うまち																					
		実行計画名																							
1. 事務事業の概要																									
種類		市民サービス				特性		非選択的事業				区分		非選択的事務事業											
事業期間		2004(H16)年度				年度		～						年度まで											
根拠法令等		都市計画法、道路法、枚方市開発事業等の手続等に関する条例、決裁																							
関係補助金名称		サンセット																							
関係附属機関名称																									
事業対象		メインターゲット		開発事業等に伴い開発業者等が整備する道路施設を市へ移管することにより宅地等の土地利用を図りたいと計画する人。																					
		サブターゲット																							
		ターゲットが抱える課題		法令等に基づいた手続きが求められている。																					
		ターゲットが抱える課題																							
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		開発行為等に対し、都市計画法、道路法、枚方市開発事業等の手続等に関する条例に基づき、道路形状構造等について開発業者等と協議を行い、良好な道路環境、形成を図っている。																							
事業概要		開発行為等に対し、都市計画法、道路法、枚方市開発事業等の手続等に関する条例に基づき、道路形状構造等について開発業者等と協議を行い、良好な道路環境、形成を図る。																							
2. ロジックモデル及び指標設定																									
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)															
						開発行為等に対し、各法令等に基づき、道路形状構造等について開発業者等と協議を行い、良好な道路環境、形成を図る。				開発事業等に対し、法令等に基づいた手続きを実施する。															
指標設定		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)															
		指標説明				協議が完了した件数				法等に基づく協議件数															
		指標種類		単位		単位		件		単位		件													
		指標数値		R2		R3		R4		R5		R2		R3											
		実績		R4		R5		R2		R3		R4		R5											
達成度		95%				95%																			
分析		令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症に伴うまん延防止措置により、少なからずとも不急の協議が控えられたと推測される。				令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症に伴うまん延防止措置により、少なからずとも不急の協議が控えられたと推測される。				条例7条に基づく事前協議件数は増えたが、建築確認協議件数の減少により、全体として協議件数は微増となった。															

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	2.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	10,422	9,171	15,714		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	10,422	9,171	15,714		
	物件費計	756	1,841	1,310	4,770	27%
	歳出計	11,178	11,012	17,024		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	1,607	1,310	4,770	
	市債	0	0	0	0	
	その他	756	234	0	0	
	歳入計	756	1,841	1,310	4,770	
	一般財源	10,422	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	開発行為は社会情勢等の影響を受けやすい。そのため新型コロナウイルス感染症の拡大防止(不要不急の外出抑制)の影響が前年度から継続してあったものと想定される。指標数値は目標に達していないが、協議申請受付分については、適正かつ円滑に事務を行うことができた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	法令や条例、その他要綱等に基づき、開発者等と道路構造形状等の協議を行い、良好な道路の環境整備に努める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	道路等管理事務											
測定年度	2021(R3)年度				部	土木部			課	道路公園管理課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4				
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標		4.安全で快適な交通環境が整うまち									
	実行計画名											

1. 事務事業の概要

種類	内部管理		特性		内部事務			区分		一般内部管理事務		
事業期間	2004(H16)年度				年度	~				年度まで		
根拠法令等	決裁											
関係補助金名称								サンセット				
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット		道路の利用者									
	サブターゲット											
	ターゲットが抱える課題		道路の管理瑕疵による事故がないようパトロールを継続的に実施し、道路の安全確保を維持する。									
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	安全で利便性の高い道路が維持できている。											
事業概要	規制を行うための路線認定行為 道路の管理瑕疵による賠償 第三者による道路施設の損傷行為について現状復旧のための原因者に対する指導 年2回の道路一斉パトロール											

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
					路線認定行為を通じて、道路機能を確保する。				規制を行うため、路線認定行為を実施。			
指標設定	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
	指標説明				市が管理する道路延長に対する認定路線延長率 【算出式: 認定路線道路延長 / 市が管理する道路延長 × 100】				認定路線道路延長			
	指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	単位				%				m			
	R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5			
	目標値(見込み)				70 70.10 70.20 70.30				5,000 5,000 5,000 5,000			
	実績				69.70 69.82				4,407 4,838			
達成度				100%				97%				
分析				予定通り実施することができた。				予定通り実施することができた。				
ロジックモデル②	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
					発生した瑕疵に対し、適切に賠償を行う。				道路管理瑕疵に基づく賠償を実施。			
指標設定②	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
	指標説明				道路瑕疵に対する賠償対応率 【算出式: 道路瑕疵による事故件数 / 賠償件数 × 100】				道路管理瑕疵相談件数			
	指標種類				増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	単位				%				件			
	R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5			
	目標値(見込み)				100 100 100 100				5 5 5 5			
	実績				100 100				14 6			
達成度				100%				80%				
分析				1件の賠償を適切に行った。				見込み通りの結果となった。				

ロジックモデル③	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
					道路施設損傷の原因者負担による施設復旧 工事を行う。				道路施設の損傷行為について、原因者に対 し、復旧指導を行う。					
指標 設定 ③	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	指標説明				損傷行為に対する復旧件数				道路施設の損傷行為に対する指導件数					
	単位				単位 件				単位 件					
	指標種類				減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標					
	指標 数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込 実績)						150	150	150	150	150	150	150	150
	達成度						83%				83%			
分析						見込みより増加した。				速やかに事務を執行した。				

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	5.65
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	62,740	47,633	40,272		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	62,740	47,633	40,272		
	物件費計	18,491	20,218	23,676	25,260	94%
	歳出計	81,231	67,851	63,948		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	18,221	20,353	22,376	
	市債	0	0	0	0	
	その他	18,491	4	3	4	
		歳入計	18,491	18,224	20,356	22,380
	一般財源	62,740	1,994	3,320	2,880	

5. 総括的分析

総括的分析 路線認定事務については、例年通りとなった。また、件数が増加している事務があったため事務処理に時間を要した。
 路線認定数 66件、道路管理瑕疵に基づく賠償 1件、道路施設損傷 176件
 放置自動車等調査 11件、不法投棄処理 99件

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	継続して効率的な事務執行を行う。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	道路占用・掘削許可事務													
測定年度	2021(R3)年度				部	土木部				課	道路公園管理課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち											
	施策目標		4.安全で快適な交通環境が整うまち											
	実行計画名													
1. 事務事業の概要														
種類	市民サービス				特性	非選択的事业				区分	非選択的事務事業			
事業期間	2004(H16)年度				年度	~				年度まで				
根拠法令等	道路法													
関係補助金名称									サンセット					
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット		土地利用を計画される人または事業者で道路許可を必要とするもの。											
	サブターゲット													
	ターゲットが抱える課題		法令等に基づいた手続きが求められている。											
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	申請時または事前に協議を行い、手続きの進行がスムーズにできている。													
事業概要	道路法の規定に基づき、道路における電気、ガス、水道、下水道等の占用申請について、警察と協議しその許可を行う。													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)					
					申請時または事前に協議を行い、手続きの進行がスムーズにできている。				道路占用・掘削に関する許可申請を受け付ける。					
指標設定	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)					
	指標説明				申請に対する処理完了件数				許可申請件数					
	指標種類		単位		単位				単位					
					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)						2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500
実績						2,469	2,417			2,469	2,417			
達成度						97%				97%				
分析						申請に対して、適正な事務を行った。				申請に対して、適正な事務を行った。				

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	1.55
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	16,836	19,539	12,178		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	16,836	19,539	12,178		
	物件費計	0	0	0	10	—
	歳出計	16,836	19,543	12,178		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	4	0	10	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	4	0	10	
	一般財源	16,836	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	例年通りの申請件数であった。今年度、大阪ガスと電子申請を試験的に実施し、令和4年度より本格的に実施する。他の公益事業者や庁内各課の申請についても電子申請の検討を行い効率化を図る。 道路占用許可申請 2171件 道路工事施行承認申請 246件 枚方市道路占用連絡協議会の開催 2回
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	申請や要望に対し、適正に審査し、速やかに事務を執行する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称														法定外公共物整理事務													
測定年度				2021(R3)年度				部				土木部				課				道路公園管理課							
市長公約との関係				所信表明				市政運営方針				R2				R3				R4							
総合計画体系				基本目標				1.安全で、利便性の高いまち																			
				施策目標				4.安全で快適な交通環境が整うまち																			
				実行計画名																							
1. 事務事業の概要																											
種類				内部管理				特性				内部事務				区分				一般内部管理事務							
事業期間				2000(H12)年度				年度				~				年度まで											
根拠法令等				枚方市法定外公共物の管理に関する条例、地方分権一括法、決裁																							
関係補助金名称								サンセット																			
関係附属機関名称																											
事業対象				メインターゲット				法定外公共物の利用者、隣接者等																			
				サブターゲット																							
				ターゲットが抱える課題				境界確定が成されていないものが多く、機能の有無を判定するにあたり、法定外公共物の位置の特定が困難である。																			
				ターゲットが抱える課題																							
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)				現に公共の用に供されている法定外公共物(里道・水路)の譲与受けが完了し、適正な機能管理ができています。																							
事業概要				機能を有する法定外公共物(里道・水路)の未譲与物件について追加譲与申請を行い、現況機能に応じた管理を行う。機能のない譲与受物件について、隣接者から払下げ申請があれば用途廃止を行い処分手続きを進める。																							
2. ロジックモデル及び指標設定																											
ロジックモデル				アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)															
								現況機能に応じた管理ができています。				里道・水路の機能の有無により、譲与申請や用途廃止申請の受付を行う。															
指標設定				アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)															
				指標説明				各申請に対する完了件数				追加譲与・用途廃止の申請件数															
				指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標															
				指標数値				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5											
				達成度				50%				50%															
				分析				追加譲与の申請件数は減少したが、用途廃止の件数が増加し、目標数値には達していませんが、全体の指標数値は増加しました。				相談を受けた追加譲与1件、用途廃止4件の業務を完了した。寄付申請、用途廃止ともに事前相談は多く寄せられている。															

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.95
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,565	3,748	7,464		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	2,565	3,748	7,464		
	物件費計	348	254	214	403	53%
	歳出計	2,913	4,002	7,678		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	254	214	403	
	市債	0	0	0	0	
	その他	348	0	0	0	
	歳入計	348	254	214	403	
	一般財源	2,565	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	開発事業や公共事業に伴う追加譲与の相談が想定よりも少なかった為、全体の件数としては目標数値に達しなかったが、全体数値は増加した。相談の受付分については円滑に事務を実施できた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	追加譲与の件数は、今後大きく増加することはないと思われるが、用途廃止については今後も増加すると想定されるため、相談があれば調査を速やかに行い、円滑な事務処理に努める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称													公園・緑地開発指導事務												
測定年度				2021(R3)年度				部		土木部				課		道路公園管理課									
市長公約との関係		所信表明		市政運営方針		R2		R3		R4															
総合計画体系		基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち																					
		施策目標		24.まちなかのみどりを育てるまち																					
		実行計画名																							
1. 事務事業の概要																									
種類		市民サービス			特性			非選択的的事业			区分		非選択的の事務事業												
事業期間		1998(H10)年度			年度		~				年度まで														
根拠法令等		枚方市開発事業等の手続等に関する条例、大阪府自然環境保全条例																							
関係補助金名称		サンセット																							
関係附属機関名称																									
事業対象		メインターゲット		市内において宅地造成をしようとする開発事業者や建物を建築しようとする建築主など																					
		サブターゲット		みどりの効果の恩恵を受ける市民や開発地や建築敷地に隣接し、生活環境に影響が生じる住民																					
		ターゲットが抱える課題		法令等に基づき市が求める公園や緑地の計画を適切に行うために技術的(形状・態様)指導が必要																					
		ターゲットが抱える課題		緑が持つ機能、役割が再認識され、緑の保全、回復、創出を求める声が多い。																					
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)		<ul style="list-style-type: none"> 開発地内や建築敷地内に公園や緑地の整備を指導することにより、まち全体が自然と共生し、美しい環境を守り育てる 市民全体がみどりの効果を楽しむことができる 																							
事業概要		<p>公園、緑地開発指導等事務として、</p> <ol style="list-style-type: none"> ①開発事前及び本協議等で開発面積等により公園・緑地の整備を指導 ②開発指導物件の中間・完了検査 ③帰属公園・緑地の検査 ④建築事前協議で緑化等指導 ⑤府条例に基づく建築物緑化の指導・届出受理等事務処理を行う。 																							
2. ロジックモデル及び指標設定																									
ロジックモデル		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)															
						適切な指導により、良好な公園や緑地が整備され、市民全体がみどりの効果を楽しむことができる。				開発地内や建築敷地内に公園や緑地の整備を指導する。															
指標設定		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)															
		指標説明		単位		指標説明		単位		件		単位			件										
		指標種類		増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標											
		指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5										
		実績						20	40	60	80	40	80	120	160										
達成度						153%				88%															
分析						前年度までに行った開発協議の着手が多かったため、実績値は目標値を上回った。				令和2年度に引き続きコロナ禍であったため、協議の件数は目標値を下回ったが、開発行為等による公園や緑地整備などは各種条例に基づき適切に指導を行っている。															

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	1.78
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	7,389	16,097	11,115		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	7,389	16,097	11,115		
	物件費計	0	0	0		—
	歳出計	7,389	16,097	11,115		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	0
	府支出金	1,229	0	0	0	0
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他	5	0	0	0	0
	歳入計	1,234	0	0	0	0
	一般財源	6,155	0	0	0	0

5. 総括的分析

総括的分析	<p>本事業は、開発事業などの申請に対して、都市計画法並びに、枚方市開発事業等に関する条例に基づき公園・緑地の整備指導を行うもので、①開発事前及び本協議等で開発面積等により公園の整備を指導、②開発指導物件の中間・完了検査、③帰属公園の検査が主な業務となる。同整備指導の現行の基準(開発区域面積3千㎡以上で3%)では、90㎡余りの小規模であまり利用されない公園が多く生み出される課題があるため、開発手続条例の改正に併せ、公共・公益施設整備基準で定められている提供公園整備基準を(開発区域面積5千㎡以上で6%)見直した。</p>
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	開発手続条例の改正に併せ、公共・公益施設整備基準で定められている提供公園整備基準を見直し、令和4年度から新たな基準で協議を実施していく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	保存樹木・保存樹林補助事業													
測定年度	2021(R3)年度				部	土木部				課	道路公園管理課			
市長公約との関係	所信表明			市政運営方針	R2	R3			R4					
総合計画体系	基本目標			5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち										
	施策目標			24.まちなかのみどりを育てるまち										
	実行計画名													

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2013(H25)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	枚方市補助金等交付規則、枚方市保存樹等管理補助金交付要綱、保存樹等管理補助金交付要領				
関係補助金名称	保存樹林・樹木補助金			サンセット	
関係附属機関名称					

事業対象	メインターゲット	市が指定した保存樹木・樹林の維持管理を行う者
	サブターゲット	みどりの効果の恩恵を受ける市民
	ターゲットが抱える課題	市に指定された保存樹木・樹林を適正に管理するためには経済的な負担がある
	ターゲットが抱える課題	

めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	保存樹木・樹林が適正に管理されることで市民全体が豊かな緑を感じ、みどりの効果を楽しむことができる
---------------------------	--

事業概要	<p>以下の要件に該当する市が指定した保存樹木・樹林に対して、維持管理経費として補助金を交付する。 (都市の美観風致を維持するための樹木の保存に関する法律施行令及び枚方市保存樹等管理補助金交付要綱で規定)</p> <p>【保存樹木】 補助金・・・1万円/年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1. 5メートルの高さにおける幹の周囲が1. 5メートル以上であること ・高さが15メートル以上であるもの ・株立ちした樹木で高さが3m以上であるもの ・推定100年以上生育し、由緒あるもの <p>【保存樹林】 補助金・・・面積規模による</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概ね500平方メートル以上であるもの ・500平方メートル以下であっても由緒ある樹木の集団であるもの
------	---

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	適切な維持管理により、市民全体が豊かなまちなかのみどりを感じ、みどりの効果を楽しんでいる。	アウトプット (活動結果)	補助金を基に、各保存樹木・樹林に対し、適切な維持管理がされている。	インプット (活動)	市が指定した保存樹木・樹林に対して、維持管理経費として補助金を交付する。							
	指標説明	市民が、まちなかのみどりの効果を楽しんでいると感じている割合 【算出式まちなかのみどりを感している割合 人数：/みどりに関する催しの来場者や講座の出席者へのアンケートの回答者数×100】	アウトカム (活動効果)	市民が、まちなかのみどりの効果を楽しんでいると感じている割合 【算出式まちなかのみどりを感している割合 人数：/みどりに関する催しの来場者や講座の出席者へのアンケートの回答者数×100】	アウトプット (活動結果)	保全樹木・樹林の適正に管理された箇所数	インプット (活動)	保存樹木・樹林等補助金の申請件数(累計)					
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	30	31	32	33	22	44	66	88	22	44	66	88
	実績	22	37			22	44			9	6		
達成度	119%				100%				14%				
分析	まちなかのみどりの効果を感じた人が増えている。				各所有者において適切に日常管理が行われている。				全ての保存樹木・保存樹林の中で、支援を必要とする申請者に対しては、補助金の交付ができていない。				

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.70
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,425	5,851	4,623		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	3,425	5,851	4,623		
	物件費計	3,295	3,246	510	1,050	49%
	歳出計	6,720	9,097	5,133		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	6,720	3,246	510	1,050	

5. 総括的分析

総括的分析 保存樹木・樹木の日常管理については、対象樹木等の成長に応じ、本補助金を活用し各所有者において適切に管理されている。また、令和3年度からは保存樹林保全事業として「枚方市保存樹林実態調査」で倒木等の危険性があると判断された危険木について所有者の委任を得て市が伐採、剪定等を行った。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	本補助金を今後も活用し各所有者にて適切に管理してもらう。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	菊花展開催及び菊づくり普及啓発事業										
測定年度	2021(R3)年度			部	土木部			課	道路公園管理課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3		R4				
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち								
	施策目標		24.まちなかのみどりを育てるまち								
	実行計画名		24-2.市民参加によるみどりを支える仕組みの充実								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2013(H25)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方の菊文化を継承する市民及び市民団体			
	サブターゲット	みどりの効果の恩恵を受ける市民等			
	ターゲットが抱える課題	菊文化を知る機会や菊づくりを継承する場が少なく、菊づくりの担い手が高齢化し、継承者が不足している。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	市民・市民団体が主体となり菊づくりを継承するとともに、行政と連携を図りながら枚方の菊文化を広く市内外にPRできている				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・菊花展の開催 ・菊づくり連続講座の開催 ・小菊栽培講習会の開催 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)					アウトプット(活動結果)				インプット(活動)							
	市民・市民団体が菊づくりを継承するとともに、行政と連携を図りながら枚方の菊文化を広く市内外にPR出来ている。					市民が菊文化に関して触れる機会が増える。				菊花展を開催する。							
指標設定	指標説明 菊と触れ合う機会が増えたと感じる市民の割合 【算出式: 菊に触れ合えると感じていると回答した人数: / 菊花展の来場者や菊の講座の出席者へのアンケートの回答者数 × 100】					指標説明 菊花展の来場者数(累計)				指標説明 菊花展への菊の出展鉢数(累計)							
	指標種類 増加することが良いとされる指標					指標種類 増加することが良いとされる指標				指標種類 増加することが良いとされる指標							
	指標数値 目標(見込み)					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	指標数値 実績					30	31	32	33	30,000	61,000	93,000	126,000	1,000	2,050	3,100	4,150
	達成度					110%				67%				76%			
	分析					菊に対する市民の関心が高い傾向がある				コロナ禍の中での開催であったため、来場者数は目標値を下回った。				コロナ禍において、全体の出展数が少なく、目標を下回った			
	単位					%				人				鉢			
ロジックモデル②	アウトカム(活動効果)					アウトプット(活動結果)				インプット(活動)							
	市民・市民団体が菊づくりを継承するとともに、行政と連携を図りながら枚方の菊文化を広く市内外にPR出来ている。					市民が、菊づくりに関して触れる機会が増え、菊づくりが継承できる。				菊づくり講座の開催。							
指標設定②	指標説明 菊と触れ合う機会が増えたと感じる市民の割合 【算出式: 菊に触れ合えると感じていると回答した人数: / 菊花展の来場者や菊の講座の出席者へのアンケートの回答者数 × 100】					指標説明 菊づくり連続講座生の生徒人数(累計)				指標説明 菊づくり講座の開催回数(累計)							
	指標種類 増加することが良いとされる指標					指標種類 増加することが良いとされる指標				指標種類 増加することが良いとされる指標							
	指標数値 目標(見込み)					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	指標数値 実績					30	31	32	33	280	133	268	403	43	92	141	190
	達成度					110%				97%				76%			
	分析					菊に対する市民の関心が高い傾向がある				多くの人が参加し、関心が高い傾向がみられた				初心者から上級者まで、幅広い講座を実施した			
	単位					%				人数				回			

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.74
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	5,612	7,227	4,910		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	216	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	5,828	7,227	4,910		
	物件費計	6,950	7,042	7,263	7,270	100%
	歳出計	12,778	14,269	12,173		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	12,778	7,042	7,263	7,270	

5. 総括的分析

市民の菊文化を守り育てるため、「ひらかた菊フェスティバル」の一環として「菊花展」を開催するとともに、菊花展実行委員会と連携して市民の菊づくりの推進を図っている。R3年度は、小菊栽培の講座について、感染対策を実施し、一年ぶりに実施した。また、菊花展に市民菊人形の会の作品や、市民、学校園が育てた菊を展示することで、市の花「菊」の普及啓発を図った。
 実績は累積値であり、目標値を下まわったものについては、令和2年に中止した数値が影響しているものや、イベントについてはコロナ禍での実施が影響しているものと考えられ、全体的には菊文化を広くPRできた。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、市民の菊文化を守り育てるため、各種取り組みを推進していく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	緑化推進事業										
測定年度	2021(R3)年度			部	土木部			課	道路公園管理課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2	○	R3		R4			
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち								
	施策目標		24.まちなかのみどりを育てるまち								
	実行計画名		24-2.市民参加によるみどりを支える仕組みの充実								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2013(H25)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	決裁、要綱(枚方市花と緑のまちづくり事業補助金交付要綱・枚方市苗木等配付事業実施要綱)				
関係補助金名称	①花と緑のまちづくり事業補助金②緑化活動団体支援補助金			サンセット	①H26 ②R2 - ①R4 ②R4
関係附属機関名称	花と緑のまちづくり事業選定審査会				

事業対象	メインターゲット	みどりに触れ合う市民や緑化推進を図る市民、市民団体、事業者
	サブターゲット	みどりの効果の恩恵を受ける市民
	ターゲットが抱える課題	緑化を推進する機会や場が少ない
	ターゲットが抱える課題	活動団体等の固定化、高齢化で活動の継続性の担保が取れない

めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	市民や事業者が主体となり積極的かつ効果的に緑化活動を展開できており、市民全体がみどりの効果を楽しんでいる
-----------------------	--

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ①緑化フェスティバル(みどりの月間事業)の開催 ②花と緑の園芸楽校の開催 ③花と緑のまちづくり事業の実施(公園などの公共空地や宅地の緑化活動に対する支援) ④花いっぱい健康づくりプロジェクトの実施(老健施設等での花育成やアダプト団体への花配布) ⑤緑化活動団体支援事業 ⑥新生児誕生記念苗木配付事業 ⑦緑化樹木配付事業 ⑧みどりに関する講習会の開催 ⑨花いっぱい運動の実施(学校やアダプト団体への種や資材の配布)
------	--

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)																												
	都市環境の保全や都市景観の形成、生物多様性の確保や都市防災機能の向上のほかに、健康維持増進、ストレス緩和、地域コミュニティ育成、地域の魅力向上などの効果をもたらす。	みどりに関わる機会の増加や知識を得ることで、みどりづくりに関わる市民を増やしまちなか緑化を推進する。	みどりに関する講座を開催する。(花と緑の園芸楽校等)																												
指標設定	指標説明	みどりに関する講座の受講者数(累計)	みどりに関する講座の開催数(累積)																												
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標																												
	指標数値	<table border="1"> <tr> <th>単位</th> <th>%</th> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> </tr> <tr> <td>48</td> <td>49</td> <td>49</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>22</td> <td>75</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	単位	%	R2	R3	R4	R5	48	49	49	50	22	75			<table border="1"> <tr> <th>単位</th> <th>人</th> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> </tr> <tr> <td>40</td> <td>173</td> <td>326</td> <td>499</td> </tr> <tr> <td>190</td> <td>313</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	単位	人	R2	R3	R4	R5	40	173	326	499	190	313		
	単位	%																													
	R2	R3	R4	R5																											
48	49	49	50																												
22	75																														
単位	人																														
R2	R3	R4	R5																												
40	173	326	499																												
190	313																														
達成度	153%	181%	167%																												
分析	昨年度はスマホアンケートでの回答のみだったが、今年度は講座受講生や新生児誕生記念苗木の配付者などから回答が得られたため、事業を実施したことでみどりとふれあいから安らぎを感じる人が多くなったと考えられる。	概ね予定通り講座を実施できたことで、目標値達成することができた。	コロナ禍のため、対面ではなく書類配付による実施となった講座も一部あったが、新規事業となる花と緑の園芸楽校も含めて概ね予定通りみどりに関する講座を実施できた。																												

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル②		都市環境の保全や都市景観の形成、生物多様性の確保や都市防災機能の向上のほかに、健康維持増進、ストレス緩和、地域コミュニティ育成、地域の魅力向上などの効果をもたらす。				みどりに親しむ機会を増やすことで、みどりづくりに関わる市民を増やし、まちなか緑化を推進する。				各種啓発イベントを実施。 (シンポジウム、緑化フェスティバル)			
指標設定②	指標説明	普段の生活の中でみどりと触れ合うことで心身が健康になり安らぎを感じている市民の割合【算出式: 普段の生活の中でみどりと触れ合うことで心身が健康になり安らぎを感じていると答えた回答数/市民向けアンケートの回答者数×100】				イベントの参加者数(累計)				啓発イベントの実施件数(累計)			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	48	49	49	50	0	4,000	8,100	123,000	0	1	2	3
	実績	22	75			0	0			0	0		
	達成度	153%											
	分析	昨年度はスマホアンケートでの回答のみだったが、今年度は講座受講生や新生児誕生記念苗木の配付者などから回答が得られたため、事業を実施したことでみどりととのふれあいから安らぎを感じる人が多かったと考えられる。				昨年度に引き続き、緊急事態宣言の発令により、緑化啓発イベントは実施できなかった。				昨年度に引き続き、緊急事態宣言の発令により、緑化啓発イベントは実施できなかった。			
ロジックモデル③		都市環境の保全や都市景観の形成、生物多様性の確保や都市防災機能の向上のほかに、健康維持増進、ストレス緩和、地域コミュニティ育成、地域の魅力向上などの効果をもたらす。				みどりに関する支援を行うことで、まちなかの良質なみどりの保全や創出につなげる。				みどりに関する各種支援申請を受け付ける。 (緑化活動団体支援事業、新生児誕生記念苗木配布事業、花いっぱい健康づくりプロジェクト、花と緑のまちづくり事緑化樹木配布事業)			
指標設定③	指標説明	普段の生活の中でみどりと触れ合うことで心身が健康になり安らぎを感じている市民の割合【算出式: 普段の生活の中でみどりと触れ合うことで心身が健康になり安らぎを感じていると答えた回答数/市民向けアンケートの回答者数×100】				みどりに関する支援団体数(累計)				みどりに関する支援申請数(個人は除く)(累計)			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	48	49	49	50	2	5	9	14	2	5	9	14
	実績	22	75			11	22			11	22		
	達成度	153%				440%				440%			
	分析	昨年度はスマホアンケートでの回答のみだったが、今年度は講座受講生や新生児誕生記念苗木の配付者などから回答が得られたため、事業を実施したことでみどりととのふれあいから安らぎを感じる人が多かったと考えられる。				花と緑のまちづくり事業や緑化活動団体支援事業等、申請があったものは全て実施したため、多くの団体を支援することができた。				花と緑のまちづくり事業や緑化活動団体支援事業等に申請があったため、実績値が目標値を上回った。			

ロジックモデル④	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)	
	都市環境の保全や都市景観の形成、生物多様性の確保や都市防災機能の向上のほか、健康維持増進、ストレス緩和、地域コミュニティ育成、地域の魅力向上などの効果をもたらす。	市民等が公園に花苗を植え、花いっぱい運動を広げる。	花いっぱい運動を実施する。	
指標設定④	指標説明	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
	普段の生活の中でみどりと触れ合うことで心身が健康になり安らぎを感じている市民の割合【算出式: 普段の生活の中でみどりと触れ合うことで心身が健康になり安らぎを感じていると答えた回答数/市民向けアンケートの回答者数×100】	花いっぱい運動で植えられた花苗の数	花いっぱい運動に参加する団体数	
指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	
指標数値	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	
目標(見込)	48 49 49 50	- 25,209 25,500 25,500	- 286 288 288	
実績	22 75	10,025 19,856	212 296	
達成度	153%	79%	103%	
分析	昨年度はスマホアンケートでの回答のみだったが、今年度は講座受講生や新生児誕生記念苗木の配布者などから回答が得られたため、事業を実施したことでみどりとふれあいから安らぎを感じる人が多くなったと考えられる。	公園に長い期間植えることができる種類の花苗を選んだことから、数としては目標値に到達しなかったが、花いっぱい運動や花いっぱい健康づくりプロジェクトにより年間を通して多くの花苗を公園に市民が植えることができた。	公園と学校園の両方の花いっぱい運動を予定通り実施することができた。	

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	2.53
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.27
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	20,988	24,772	19,001		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	495	0	535		
	特別職非常勤	-	0	0		
	附属機関委員	-	0	0		
	人件費計	21,483	24,772	19,536		
物件費計	14,995	4,163	15,297	22,182	73%	
歳出計		36,478	28,935	34,833		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	8,151	1,639	4,410	9,741	
	歳入計	8,151	1,639	4,410	9,741	
一般財源		28,327	2,524	10,887	11,341	

5. 総括的分析

総括的分析	市内福祉関係施設7箇所です「花いっぱい健康づくりプロジェクト」を実施するとともに、「緑化活動団体支援補助金」では緑化活動団体の支援、新生児誕生記念苗木の配布、公園アダプト団体による特色ある公園づくり等を行った。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、緑化フェスティバルは、中止となったものの、対策を講じながら、「花と緑の園芸楽校」を、まちなか緑化を一層推進し、みどりの多様な効果や活用方法について知識を取得し、将来のみどりに関わる市民の育成を推進するため、新たに実施した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	コロナ禍の中でも持続的に取り組みが行えるよう、身近な場所から「まちなか緑化」に取り組める環境整備を進めていく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	プレーパーク推進事業											
測定年度	2021(R3)年度			部	土木部			課	道路公園管理課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち									
	施策目標		24.まちなかのみどりを育てるまち									
	実行計画名		24-2.市民参加によるみどりを支える仕組みの充実									
1. 事務事業の概要												
種類	市民サービス			特性	選択的事业			区分	一般事務事業			
事業期間	2018(H30)年度			年度	~			年度まで				
根拠法令等	決裁											
関係補助金名称							サンセット					
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット		自然の中で自らの創造や工夫により自由に遊びたい子ども									
	サブターゲット		小さい時に自らが経験した自然の中での自由な遊びを子供にも経験させたいという保護者									
	ターゲットが抱える課題		子どもが自らの想いで自由に遊べる自然の遊び場が少ない。									
	ターゲットが抱える課題		まちなかの公園でも思い切って自由にボール遊びができないなど親が願う子どもの発育を支える環境が身近な場所がない。									
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	子どもが自らの創造や工夫により自由に遊べる場所が身近にあり、世代間の交流につながっている。											
事業概要	<p>子育て環境の充実と地域の活性化を図るため、子どもたちが創造や工夫により自ら遊び場を作る「子どもの冒険遊び場」として、まちなかにあ る斜面林という立地条件を活かし、香里ヶ丘地区の桑ヶ谷の緑地において市民活動団体と協働してプレーパーク事業を行うもの。 (活動団体) ひらかたプレーパーク実行委員会(活動場所) 桑ヶ谷公園隣接緑地(約1.3ヘクタール) (活動内容) プレーパークの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 1回につき2~3時間、1回/月、年に12回程度の開催 木材を利用したプランコや竹細工、ツリーテラスづくりなどを実施 											

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)				
	子どもが自らの創造や工夫により自由に遊べる場所が身近にあり、世代間の交流につながっている。				プレーパークに参加できる機会が増える。				プレーパークの開催を推進する。				
指標設定	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)				
	利用者アンケートによる満足度【算出式:満足と回答した人数/アンケートに回答した人数×100】				各年度におけるプレーパークの子供参加者数				各年度におけるプレーパークの開催数				
	単位				単位				単位				
	%				人				回				
	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標種類	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	指標数値	60	65	70	75	360	390	420	450	12	13	14	15
実績	98	100			703	538			9	10			
達成度	154%				138%				77%				
分析	普段の公園ではできないような自然の遊び場を提供していることに加え、遊びの内容が自然素材を活用したものであることが利用者の評価を高めたと考えられる。				コロナ禍の中、密にならないよう家族等の参加組数を40組に制限したため、子どもの参加者数が減少した。				新型コロナウイルス感染拡大防止のため、緊急事態宣言及びまん延防止措置期間中は開催を中止したことから、目標を上回らなかった。				

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.57
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	8,235	6,242	3,814		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	8,235	6,242	3,814		
	物件費計	12,752	1,409	1,619	2,170	—
	歳出計	20,987	7,651	3,814		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	20,987	1,409	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	昨年度と同様、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施回数や入場者数を制限したこともあり、利用者数は伸び悩んでいるものの、事業内容については多くの利用者が満足するものとなっている。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後も新型コロナウイルス感染拡大防止に取り組みながら、事業の実施や広報活動を行っていく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	都市公園等維持管理事業(管理)													
測定年度	2021(R3)年度				部	土木部				課	道路公園管理課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち											
	施策目標		24.まちなかのみどりを育てるまち											
	実行計画名													

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2004(H16)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	都市公園法、枚方市都市公園条例				
関係補助金名称				サンセット	-
関係附属機関名称					

事業対象	メインターゲット	公園利用者すべて。
	サブターゲット	
	ターゲットが抱える課題	公園利用者が円滑かつ安全に利用できないと人の交流及び子供達の交流が滞る。
	ターゲットが抱える課題	

めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	公園を安全・安心に利用できることで、人の交流や、子供達の交流が円滑に進む。
-----------------------	---------------------------------------

事業概要	公園を安全・安心に利用できるよう管理を行う ・公園占用及び使用の許可 ・公園占用料及び使用料の徴収 ・公園等に関する苦情、要望、事故等の処理事務 ・公園等の管理瑕疵による賠償 等
------	---

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)										
		申請に対し、適切に対応する	公園等の一時占用許可申請を受け付ける										
指標設定	指標説明	対応件数	申請件数										
	指標種類	単位	単位 件										
	指標数値	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標							
		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)					100	100	100	100	100	100	100	100
	実績					108	153			108	153		
	達成度					153%				153%			
分析					申請に対して、適正な事務を行った。				申請に対して、適正な事務を行った。				

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.66
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	-	-	4,255		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	-	-	0		
	特別職非常勤	-	-	0		
	附属機関委員	-	-	0		
	人件費計	-	-	4,255		
	物件費計	-	-	43,153	37,886	114%
	歳出計	-	-	47,243		
歳入	国庫支出金	-	-	0	0	
	府支出金	-	-	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	-	-	0	0	
	市債	-	-	0	0	
	その他	-	-	0	0	
	歳入計	-	-	0	0	
	一般財源	-	-	43,153	37,886	

5. 総括的分析

総括的分析	<p>昨年度と同様に、今年も新型コロナウイルス感染拡大防止及びまん延防止措置に伴い、公園での催し、イベントの開催が制限されていたが、今年度の後半より感染者数の減少傾向を受け、申請数が昨年度より増える結果となった。公園の使用占用数は、地域のにぎわい、人との交流を促す活動の数値結果でもあることから、引続き、公の施設として申請者にコロナ感染拡大防止対策をとっていただきながら適切に公園の管理運営を図っていく。</p> <p>公園一時占用許可申請 121件 公園内制限行為許可申請 28件 行政財産使用許可申請 4件</p>
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	申請や要望に対し、適正に審査し、速やかに事務を執行する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称													道路アダプト事業			
測定年度		2021(R3)年度			部		土木部			課		道路公園管理課				
市長公約との関係		所信表明		市政運営方針		R2		R3		R4						
総合計画体系		基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち												
		施策目標		28.美しく魅力あるまち並みが育まれるまち												
		実行計画名		28-1.美しい景観形成の推進												
1. 事務事業の概要																
種類		市民サービス			特性		選択的事业			区分		一般事務事業				
事業期間		2004(H16)年度			年度		~				年度まで					
根拠法令等		決裁														
関係補助金名称					サンセット											
関係附属機関名称																
事業対象		メインターゲット		道路等の環境美化活動をする市民団体等												
		サブターゲット														
		ターゲットが抱える課題		美観が守られていない道路がある。												
		ターゲットが抱える課題		道路等の美化活動を行う意欲がある団体等が参画できる仕組みや位置づけが存在しない。												
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		公共空間である駅周辺や住宅街の市の管理する道路を市民が道路の里親となり管理を行い、市民や事業者と市がパートナーシップを組み街の美観を守れている。														
事業概要		枚方市道の清掃活動及び植栽の維持管理、支障箇所の通報活動を地域が行い、市が清掃道具の貸与や廃棄物の処理を行う活動の推進														
2. ロジックモデル及び指標設定																
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)						
		公共空間である駅周辺や住宅街の市の管理する道路を市民が道路の里親となり管理を行い、市民や事業者と市がパートナーシップを組み街の美観を守れている。				参加団体により、道路の環境美化活動を実施する。				枚方市アダプトプログラムに合意した団体が道路アダプト事業に参加する。						
指標設定		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)						
		指標説明		市民の環境美化満足度		環境美化活動数		参加団体数								
		指標種類		増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標								
		指標数値		R2 R3 R4 R5		R2 R3 R4 R5		R2 R3 R4 R5								
		目標(見込み)		100 100 100 100		16 16 16 16		16 16 16 16								
		実績		83 91		19 19		19 19								
達成度		91%		119%		119%										
分析		花苗の提供団体は13団体あり、概ね満足であるとの評価を得た。				道路アダプトの登録団体数は昨年度と増減はなく、19団体である。				新型コロナウイルス感染拡大が懸念されたが、花苗の提供を再開し、13団体に花苗の支援を行った。						

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.27
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,363	2,153	2,121		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	0	0		
		附属機関委員	—	0	0		
		人件費計	1,363	2,153	2,121		
	物件費計	508	271	589	710	83%	
歳出計		1,871	2,424	2,710			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	271	589	710		
	市債	0	0	0	0		
	その他	508	0	0	0		
	歳入計	508	271	589	710		
一般財源		1,363	0	0	0		

5. 総括的分析

総括的分析	道路アダプトは道路の環境美化活動を目的とするもので、19団体が登録されている。そのうち13団体に花苗提供の支援を行っており、満足度調査では約9割の団体から満足との回答を得ている。引き続き花苗を提供することで道路の美化活動の推進、緑化の推進を図る。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	廃止
今後の取組方針	環境部が実施している枚方市アダプトプログラムにおいて、環境美化活動を目的とした道路上でのアダプトを実施しているため、道路公園管理課の道路アダプト事業を廃止し、環境部のまち美化啓発事業へ統合する。花苗提供は、道路公園管理課の道路等管理事務で継続する予定。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	河川・水路・法定外水路境界明示事務											
測定年度	2021 (R3) 年度				部	土木部				課	道路公園管理課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4				
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり									
	施策目標		31.持続可能な行財政運営を進めます									
	実行計画名											

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2011 (H23) 年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	河川法、枚方市法定外公共物の管理に関する条例、枚方市手数料条例				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					

事業対象	メインターゲット	準用河川・法定外公共物(水路)に隣接する土地所有者。
	サブターゲット	
	ターゲットが抱える課題	所有する土地の売買や開発等に当たっては、隣接道路等との境界を確定する必要がある。
	ターゲットが抱える課題	

めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	本市が管理する準用河川・法定外公共物(水路)に隣接する土地所有者からの申請に基づき、その土地と水路等の境界確定についてスムーズな手続きができています。
事業概要	本市が管理する準用河川・法定外公共物(水路)に隣接する土地所有者からの申請に基づき、その土地と水路等の境界について、双方現地立会で境界線の位置を協議のうえ定める。

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
		申請に対し、その土地と水路等の境界について、スムーズな手続きが来ている。	準用河川・法定外公共物に隣接する土地所有者より、既明示証明申請を受け付ける。

指標設定	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
	指標説明	既明示証明申請に対する対応件数	既明示証明申請件数
	指標種類	単位	単位
	指標数値	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	目標(見込み)	15 15 15 15	15 15 15 15
	実績	11 20	7 18
達成度			
分析		新型コロナウイルス感染症まん延防止措置の影響はあるものの、昨年度に比べて一般の既明示申請件数が増加した。	既明示申請件数の増加に伴い、既明示証明件数が増加した。

ロジックモデル②	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
		申請に対し、その土地と水路等の境界について、スムーズな手続きが来ている。	準用河川・法定外公共物に隣接する土地所有者より、新規明示申請を受け付ける。

指標設定②	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
	指標説明	新規明示申請に対する対応件数	新規明示申請件数
	指標種類	単位	単位
	指標数値	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	目標(見込み)	70 70 70 70	70 70 70 70
	実績	44 67	44 67
達成度	96%		96%
分析		新型コロナウイルス感染症まん延防止措置の影響はあるものの、昨年度に比べて公用、一般共に新規の明示申請件数が増加した。	目標に近い申請数となり、円滑かつ適正に境界確定を行うことができた。

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	1.75
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	17,926	16,699	12,633		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	17,926	16,699	12,633		
	物件費計	262	171	309	440	70%
	歳出計	18,188	16,870	12,942		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	171	309	440	
	市債	0	0	0	0	
	その他	262	0	0	0	
	歳入計	262	171	309	440	
	一般財源	17,926	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	昨年度に比べて新型コロナウイルス感染症まん延防止措置による影響が減少したと想定され、目標に近い達成度となった。指標に含んでいないが、既明示証明申請件数も昨年度に比べ増加している。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	申請があれば速やかに調査・調整を図り、円滑かつ適正な事務執行に努める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	準用河川等管理事務													
測定年度	2021(R3)年度				部	土木部				課	道路公園管理課			
市長公約との関係	所信表明			市政運営方針	R2	R3			R4					
総合計画体系	基本目標			6.計画の推進に向けた基盤づくり										
	施策目標			31.持続可能な行財政運営を進めます										
	実行計画名													

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務							
事業期間	2011(H23)年度			年度	~	年度まで						
根拠法令等	河川法、枚方市法定外公共物の管理に関する条例、同施行規則、枚方市準用河川占用料条例、同施行規則、枚方市準用河川の管理に関する規則											
関係補助金名称												サンセット
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット	準用河川の利用者、隣接者等										
	サブターゲット											
	ターゲットが抱える課題	準用河川等の適切な管理を求められている。										
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	河川法を遵守した土地利用ができています。											
事業概要	準用河川の河川法に基づく許可及び準用河川占用料の徴収 法定外公共物(水路)の使用許可及び使用料の徴収 国、府の管理する河川、水路等の占用許可の経由事務 準用河川、法定外公共物(水路)に関する苦情、要望、事故等の処理事務											

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)									アウトプット (活動結果)	各申請に対し、適切に対応する。				インプット (活動)	準用河川、法定外公共物、国、府の管理する河川、水路等の占用許可申請を受け付ける。							
	指標説明									アウトカム (活動効果)	申請に対する対応件数				アウトプット (活動結果)	申請件数				インプット (活動)			
指標設定	指標種類	単位								増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標									
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5						
	目標(見込み)					25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25						
	実績					254	354			254	354			254	354								
	達成度									1416%				1416%									
分析									件数項目修正のため、見込みより多くなった。見込みの修正が必要。				件数項目修正のため、見込みより多くなった。見込みの修正が必要。										
ロジックモデル②	アウトカム (活動効果)									アウトプット (活動結果)	苦情、要望、事故等に対し、適切に対応する。				インプット (活動)	準用河川、法定外公共物に関する苦情、要望、事故等を受け付ける。							
	指標説明									アウトカム (活動効果)	苦情、要望、事故等の対応件数				アウトプット (活動結果)	苦情、要望、事故等の件数				インプット (活動)			
指標設定②	指標種類	単位								減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標									
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5						
	目標(見込み)					10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10						
	実績					28	158			28	158			28	158								
	達成度									0%				0%									
分析									件数項目修正のため、見込みより多くなった。見込みの修正が必要。				件数項目修正のため、見込みより多くなった。見込みの修正が必要。										

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	2.58
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	17,096	9,015	18,145		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	17,096	9,015	18,145		
	物件費計	12,806	0	0	10	—
	歳出計	29,902	9,015	18,145		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	10	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	10	
	一般財源	29,902	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	申請件数が増えたため、見込みより多くの人員を配置することとなった。 河川法申請 53件、法定外公共物使用許可等申請 266件、法定外公共物施行承認 23件、国や府の管理経由事務 12件
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	申請や要望に対し、適正に審査し、速やかに事務を執行する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	枚方市道路長寿命化計画事業										
測定年度	2021(R3)年度			部	土木部			課	道路公園管理課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3	R4					
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標		31.持続可能な行財政運営を進めます								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2018(H30)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	道路法				
関係補助金名称				サンセット	-
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	道路の利用者。			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	突発的な補修が発生した場合は多大な財政負担が発生することになり、迅速な補修に影響を与える。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	計画に基づいた点検、修繕を実施し、持続可能な道路施設の維持管理が継続できており、道路を安全・安心に通行できることで、人の交流や、物流が円滑に進んでいる。				
事業概要	枚方市道路長寿命化修繕計画として、メンテナンスサイクルを確立し、道路施設全般の維持管理に関する基本方針を示す。また、個別施設計画に基づき、効率的・効果的で持続可能な道路施設の維持管理を推進する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)	「枚方市道路長寿命化計画」に係る取り組みが確実に推進される。				インプット (活動)	「枚方市道路長寿命化計画」に係る事務を実施する。				
指標設定	指標説明					アウトカム (活動効果)	道路施設点検を完了した箇所数				アウトプット (活動結果)	計画に基づく道路施設点検必要箇所数				
	指標種類					単位					単位	箇所		単位	箇所	
	指標数値	R2	R3	R4	R5	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標						
	目標(見込み)					30	142	95	4	30	142	95	4			
	実績					30	142			30	142					
	達成度					100%				100%						
分析					計画通り点検を完了した。				計画通り点検を完了した。							

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.40
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,768	3,350	3,143		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	3,768	3,350	3,143		
	物件費計	8,239	10,395	22,636	27,775	81%
	歳出計	12,007	13,745	25,779		
歳入	国庫支出金	2,750	4,730	10,736	10,736	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計	2,750	4,730	10,736	10,736
	一般財源	9,257	5,665	11,900	17,039	

5. 総括的分析

総括的分析	今年度は、路面下空洞調査を実施したため、計画を策定した昨年度と同様の人員配置となった。道路施設の点検については、計画通り実施することができた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	計画に基づき、橋梁等の点検を実施する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称													道路公園管理課運営事務												
測定年度				2021(R3)年度					部		土木部				課		道路公園管理課								
市長公約との関係		所信表明			市政運営方針			R2	R3			R4													
総合計画体系		基本目標			9.施策体系外																				
		施策目標			99.施策体系外																				
		実行計画名																							
1. 事務事業の概要																									
種類		内部管理			特性			庶務的事務				区分		庶務的内部管理事務											
事業期間		不明			年度		~			年度まで															
根拠法令等		決裁																							
関係補助金名称		サンセット																							
関係附属機関名称																									
事業対象		メインターゲット			道路公園管理課所管事務に従事する職員																				
		サブターゲット																							
		ターゲットが抱える課題			事務の適正かつ効率的な運営の継続																				
		ターゲットが抱える課題																							
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		事務の適正かつ効率的な運営の維持																							
事業概要		1. 予算及び決算に関する事務 2. 行政評価及び事業計画等に関する事務 3. 物品の契約及び整理、保管に関する事務 4. 職員の休暇及びサービスに関する事務 5. 文書の收受、発送及び整理、保管に関する事務																							
2. ロジックモデル及び指標設定																									
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)					インプット (活動)													
指標設定		アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)					インプット (活動)													
		指標説明		単位			単位			単位															
		指標種類																							
		指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5										
				日標 (見込み)																					
		実績																							
達成度																									
分析																									

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	2.65
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	1.14
特別職非常勤	1.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	-	-	20,821		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	-	-	3,132		
	特別職非常勤	-	-	4,523		
	附属機関委員	-	-	0		
	人件費計	-	-	28,476		
	物件費計	-	-	864	1,240	70%
	歳出計	-	-	29,340		
歳入	国庫支出金	-	-	0	0	
	府支出金	-	-	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	-	-	774	1,126	
	市債	-	-	0	0	
	その他	-	-	76	69	
	歳入計	-	-	850	1,195	
	一般財源	-	-	14	45	

5. 総括的分析

総括的分析	過年度に比べ、新型コロナウイルス感染症まん延防止に伴う制限の緩和により、道路の調査や要望のため、窓口対応する業務量が増加した。 道路等関係図面等写しの発行事務 3,446件(過年度3,374件) 意見、要望等の処理事務 839件(過年度398件)
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	継続して効率的な事務執行を行う。